

セカンドステージ設計科目群

科目コード	OG380	科目名	障害者とインクルージョン		科目群	第3群
担当者	河東田 博 (カトウダ ヒロシ)					
開講日程・時限	春学期・月曜日・4時限	授業方式	対面	単位数	2単位	
備考	履修人数制限あり					
授業の目標	「包摂」と訳されるインクルージョンは多元的共生社会実現の理念で、ノーマライゼーション理念の延長線上にあると考えられている。そこで、インクルージョン理念がなぜ生まれ、どう発展し、今後どう展開されていくのか、を検討する。					
授業の内容	障害のある人たちがどう生きてきたのかを振り返り、今日の障害者福祉をどのように評価したらよいのか、をインクルージョン理念と照らし合わせながら検討する。また、インクルージョンなど日本の障害者福祉に影響を与えた諸理念がなぜ生まれ、どう発展し、現行法制度にどう影響を与えてきているのか、実践上の問題や課題は何か、なども検討する。その上で、誰をも包み込むことのできるインクルージョン（多元的共生）社会をどう実現していったらよいのか、を考える。					
授業計画	第1回 4/11 1970年代までの障害者福祉の歩み 第2回 4/18 1980年代以降の障害者福祉の歩み 第3回 4/25 障害者福祉の歩みを変えたノーマライゼーション理念 第4回 5/9 ノーマライゼーション理念「再考」とインクルージョン理念 第5回 5/16 インクルージョン理念と障害者権利条約 第6回 5/23 インクルージョン理念が変えたわが国の法制度 第7回 5/30 インクルージョン理念と障害者総合支援法1：新法の概要 第8回 6/6 インクルージョン理念と障害者総合支援法2：新法の特徴 第9回 6/13 インクルージョン理念とパーソナルアシスタンス制度 第10回 6/20 インクルージョン理念に抵触する入所施設 第11回 6/27 インクルージョン（多元的共生）社会実現の鍵：当事者参画 第12回 7/4 インクルージョン（多元的共生）社会実現の鍵：性的共生 第13回 7/11 インクルージョン（多元的共生）社会の実現に向けて *対面授業の場合：第12回目にゲストスピーカーを招聘する予定					
成績評価方法	平常点による評価					
講義中に直接使用する教科書	河東田博、2022、『障害者福祉の過去・現在・未来』（改訂版）、浦和大学、無料（市販されていないためBlackboardを通して該当章を配信予定）。					
上記教科書以外の参考図書						
その他（HP等）	新聞等各種メディアの福祉情報に目を通しておくこと。					